学校番号	３１０

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語理解	2	第２学年	総合英語 be 3rd Edition English Grammar 28（いいずな書店） 総合英語 be 3rd Edition English Grammar Workbook 28（いいずな書店） NextStage 英文法・語法問題 4th edition（桐原書店） 総合英語 be 3rd Edition （いいずな書店）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は１学年で学習した語彙や表現、文法事項の復習も入れながら行うので、しっかり授業を受けて、英語の土台も固め、英語の４技能、及び総合力を高めましょう。予習や復習、課題、語彙テスト等もありますが、授業をフル活用して、英語に慣れ親しみ、英語の理解から４技能の向上を目指してください。学習した内容を活用してペアワークやグループワークなど英語でさまざまな活動をしていきます。私たちは、みなさんにとって有益な授業を考え展開していきます。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）、「総合英語」（３単位）、「「英語表現Ⅱ」（２単位）、「英語理解」（２単位）、「英語総合演習」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
☆簡単な文を使って話したり、質問をすることができる。 ◆前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。 ◆◇天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	・音読テスト ・スピーキングテスト ・暗唱テスト	☆簡単な文やメモを書くことができる。 ◆簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	・小テスト ・定期考査	☆簡単な文や指示を理解することができる。 ◇◆ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を１文聞き取ったあと、リピートすることができる。 ◇ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。	・小テスト ・ディクテーションテスト ・リスニングテスト	☆簡単な文章や表示・掲示を理解することができる。 ◇待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ◇簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・小テスト ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

	ア）コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ）外国語表現の能力	ウ）外国語理解の能力	エ）言語や文化についての知識理解
観点	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報・自分の考え・意見などを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の考え・意見などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化や思考様式などを理解している。
基準	①間違いを恐れずに、積極的に言語活動を行おうとしている。 ②さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを続けようとしている。	①情報や考えなどを正確に話したり書いたりすることができる。 ②言語材料を使って、文章を書くことができる。	①例文を読んで、文構造を理解し、その内容も正確に読み取ることができる。 ②英文を聞いて、その内容を聞き取り、理解をすることができる。	①言語に対する知識や文法事項を正しく理解し、運用することができる。 ②本文の中で扱ったトピックスに関して、文化やその背景について理解することができる。

(a)授業中の活動　(b)発表　(c)課題の提出　(d)　小テスト・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson ①～⑦ (各単元２～３時間程度)	①英語の語順（１） 名詞と限定詞 ②英語の語順（２） 形容詞と副詞 前置詞と接続詞 ③文の種類 否定文と疑問文 ④時制（１） ⑤時制（２） ⑥完了形（１） ⑦完了形（２） 時制と動詞の形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、話者が伝えようとしていることを理解できるようになる。また、自分のことについても他者に伝えることができるようになる。	教科書の例文を用いて単元の話題を読みとり、自分の身の回りのことと比較しながら、他者と共有する。また、例文を声に出して読むことで英語に慣れ親しむ。	単元で扱う話題について理解し、考えようとしている。また、自らの考えを英語で示すことができる	・定期考査 ・読む、話すを中心に言語活動を観察する。 ・授業において内容把握を確認する英問を行う。
		「外国語表現の能力」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、身の回りのことを英語で説明できるようになる。	教科書の Exercise の問題を用いて、与えられた場面や心情などを英語で説明する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書の Exercise の問題に解答することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・教科書の Exercise の問題の解答状況を確認する。
		「外国語理解の能力」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、英語で示された場面や心情などを理解できるようになる。	教科書の例文を用いて、示された場面や心情などを英語で理解する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書に例文に示された場面や心情などを英語で理解し、説明することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・ノートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		例文に関連する言語的・文化的な背景についてのより深い知識や理解を身につける。	単元で学んだ文法事項を用いて、英語特有の表現方法や英語圏特有の考え方などを学ぶ。	例文から読み取ったことを、日本のことと比較しながら日本語に置き換えて簡単に説明することができる。	・定期考査 ・授業において単元の題材を元に英門を行う。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson ⑧～⑭ (各単元２～３時間程度)	⑧助動詞（１） ⑨助動詞（２） ⑩助動詞（３） 助動詞を使った表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、話者が伝えようとしていることを理解できるようになる。また、自分のことについても他者に伝えることができるようになる。	教科書の例文を用いて単元の話題を読みとり、自分の身の回りのことと比較しながら、他者と共有する。また、例文を声に出して読むことで英語に慣れ親しむ。	単元で扱う話題について理解し、考えようとしている。また、自らの考えを英語で示すことができる	・定期考査 ・読む、話すを中心に言語活動を観察する。 ・授業において内容把握を確認する英問を行う。
		「外国語表現の能力」			
	⑪受動態 さまざまな受動態 ⑫不定詞（１）	単元で学んだ文法事項を用いて、身の回りのことを英語で説明できるようになる。	教科書の Exercise の問題を用いて、与えられた場面や心情などを英語で説明する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書の Exercise の問題に解答することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・教科書の Exercise の問題の解答状況を確認する。
		「外国語理解の能力」			
	⑬動名詞 ⑭動名詞と不定詞	単元で学んだ文法事項を用いて、英語で示された場面や心情などを理解できるようになる。	教科書の例文を用いて、示された場面や心情などを英語で理解する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書に例文に示された場面や心情などを英語で理解し、説明することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・ノートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		例文に関連する言語的・文化的な背景についてのより深い知識や理解を身につける。	単元で学んだ文法事項を用いて、英語特有の表現方法や英語圏特有の考え方などを学ぶ。	例文から読み取ったことを、日本のことと比較しながら日本語に置き換えて簡単に説明することができる。	・定期考査 ・授業において単元の題材を元に英門を行う。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson ⑮～㉑ (各単元２～３時間程度)	⑮不定詞（２） ⑯不定詞（３） ⑰分詞（１） ⑱分詞（２） 不定詞や分詞を使った表現 ⑲関係詞（１） ⑳関係詞（２） ㉑関係詞（３） 名詞の後置修飾	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、話者が伝えようとしていることを理解できるようになる。また、自分のことについても他者に伝えることができるようになる。	教科書の例文を用いて単元の話題を読みとり、自分の身の回りのことと比較しながら、他者と共有する。また、例文を声に出して読むことで英語に慣れ親しむ。	単元で扱う話題について理解し、考えようとしている。また、自らの考えを英語で示すことができる	・定期考査 ・読む、話すを中心に言語活動を観察する。 ・授業において内容把握を確認する英問を行う。
		「外国語表現の能力」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、身の回りのことを英語で説明できるようになる。	教科書の Exercise の問題を用いて、与えられた場面や心情などを英語で説明する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書の Exercise の問題に解答することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・教科書の Exercise の問題の解答状況を確認する。
		「外国語理解の能力」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、英語で示された場面や心情などを理解できるようになる。	教科書の例文を用いて、示された場面や心情などを英語で理解する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書に例文に示された場面や心情などを英語で理解し、説明することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・ノートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		例文に関連する言語的・文化的な背景についてのより深い知識や理解を身につける。	単元で学んだ文法事項を用いて、英語特有の表現方法や英語圏特有の考え方などを学ぶ。	例文から読み取ったことを、日本のことと比較しながら日本語に置き換えて簡単に説明することができる。	・定期考査 ・授業において単元の題材を元に英門を行う。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson ㉒～㉘ (各単元２～３時間程度)	㉒比較（１） ㉓比較（２） 比較表現 ㉔仮定法（１） ㉕仮定法（２） ㉖構文（１） ㉗構文（２） ㉘話法 Further Study ① 否定文と疑問文 Further Study ② 代名詞 Further Study ③ 前置詞 Further Study ④ 接続詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、話者が伝えようとしていることを理解できるようになる。また、自分のことについても他者に伝えることができるようになる。	教科書の例文を用いて単元の話題を読みとり、自分の身の回りのことと比較しながら、他者と共有する。また、例文を声に出して読むことで英語に慣れ親しむ。	単元で扱う話題について理解し、考えようとしている。また、自らの考えを英語で示すことができる	・定期考査 ・読む、話すを中心に言語活動を観察する。 ・授業において内容把握を確認する英問を行う。
		「外国語表現の能力」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、身の回りのことを英語で説明できるようになる。	教科書の Exercise の問題を用いて、与えられた場面や心情などを英語で説明する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書の Exercise の問題に解答することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・教科書の Exercise の問題の解答状況を確認する。
		「外国語理解の能力」			
		単元で学んだ文法事項を用いて、英語で示された場面や心情などを理解できるようになる。	教科書の例文を用いて、示された場面や心情などを英語で理解する。	単元で学んだ文法事項を用いて、教科書に例文に示された場面や心情などを英語で理解し、説明することができる。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・ノートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		例文に関連する言語的・文化的な背景についてのより深い知識や理解を身につける。	単元で学んだ文法事項を用いて、英語特有の表現方法や英語圏特有の考え方などを学ぶ。	例文から読み取ったことを、日本のことと比較しながら日本語に置き換えて簡単に説明することができる。	・定期考査 ・授業において単元の題材を元に英門を行う。